

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	中央福祉医療専門学校
設置者名	学校法人 中央学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 介護福祉科(2年制) 国家資格介護福祉士試験合格及び社会人としての人格形成に重きを置いた取り組みを実施。 【作成について】 シラバスの見直しについては学内の成績評価、履修、過程終了認定を行う「進級・卒業判定会議」終了後、来年度におけるシラバスの見直しを行い、修正している。年度初めに講師会により、講師間の授業内容等調整を行う。公表は年度はじめのガイダンス時に学生に下記の要領で公表していることを周知する。	
授業計画書の公表方法	HP掲載 https://chuogakuen.ac.jp/fukushi/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 添付資料「学生便覧」校則・諸規定 第4章 履修方法・課程修了認定による 学則において、学内の成績評価、履修、課程修了認定について規定している。授業への出席状況、授業態度、定期試験の評価を総合的に判断、1/3以上の欠席で単位取得にならない。 第14条 進級については、判定会議で定めるものとする。 第15条 第9条に定める修了年限以上在学し所定の授業科目・時間数を習得した者には卒業証書を授与する。 学修意欲の把握については、本校はクラス担任制の他、個別担当制を取っており、担任以外専任教員がクラス内の数人を担当とし、1年次は年間6回以上2年次は月に1回以上の個別面談を行っている。さらに、前期終了時・後期終了時保護者面談実施。面談内容は①学習について②生活面において③実習・就職について④他 について必要であれば職員会議内で対応について協議し、対応している	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学則の細目において、G P A (Grade Point Average) を導入し、学内の成績評価として使用している。G P Aは生徒の履修した 1 授業科目あたりの平均成績を指す。当校では、就職の学内推薦枠の候補者選定や、独自奨学金、学業優秀者の表彰候補者選出などに活用している。 学業成績は、授業科目ごとに行う試験（定期試験、実習態度等）によって評価される。当校では各授業の評価を 100 点満点を基準として、60 点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により 100～95 をS、94～80 をA、79～70 をB、69～60をCとして、成績が通知される。G P Aは（Sの授業数×4+A の授業数×3+B の授業数×2+C の授業数×1）の合計を、各生徒が履修済みの総授業数で除した数として求めることによって算出する。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	HP掲載 https://chuogakuen.ac.jp/fukushi/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業認定について すべての授業および実習評価を2月末日で終了し、各教科単位習得状況をもとに卒業判定会議を実施。 ①各授業出席率 ②認定試験の合否 ③実習評価 卒業認定に満たない場合、補習および課題を課し、期限までに修了を促す。 補習および課題提出後再度認定会議を実施 卒業要件を満たした場合卒業を認める。 会議終了後掲示板により学生に周知。卒業時卒業証書および成績表の配布 掲示期間は判定終了後から3月末まで学生掲示板にて行う	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学生便覧にて周知 ホームページ上で公表 https://chuogakuen.ac.jp/fukushi/